

年 組 名前：

# 開幕から決勝 林6連投696球

決勝もマウンドを守り抜いた。前日の準決勝からの連続投となっても、18日の開幕試合（1回戦）から6試合連続で先発しても、疲れを感じさせない威風堂々の投球で日本一を決めるマウンドに立った。

6試合で51回を投げ、696球を投じた。合計3失策と、遊撃手・進藤大主将を中心とした堅い守りにも支えられ、決勝でもストライク先行でテンポよく打たせて取った。

## スポット

球の熱投で今大会4度目の完投。誰もが目を見張る鉄腕ぶりは、冬場に取り組んだ丸太を担いでのインターバル走で鍛えた成果だ。「本当にきつかった」という強化練習を仲間と乗り越え、連投もいとわない体力を身につけた。大会中にトレーナーのマッサージを受けていたといい、「周囲の支えがあつて投げ抜くことができた」と声を大きくした。

直球は130キロだが決勝でも打者が差し込まれる場面が目立った。「(秋の)明治神宮大会で直球を打ち込まれた反省から、冬に徹底して直球の質の向上を図ってきた」という。吉田健人部長は「林の直球は回転数が多く、打者の手元で伸びる」と秋からの成長を実感していた。

決勝翌日からは夏に向けた戦いがスタートする。「夏に甲子園に帰ってきた。自分がチームを引っ張る。強い気持ちで日々を過ごしていく」。力強い言葉にエースの威厳が感じられた。〈小池直輝〉

(2023年4月2日付 山梨日日新聞11面)

問1 選抜高校野球大会で、山梨学院高校が、県勢初の優勝を成し遂げました。林投手は、甲子園で

何試合、何球を投げましたか。また、1試合の平均投球数を教えてください。

・試合数 ..... ・投球数 ..... ・平均投球数 .....

問2 林投手は、今大会で4度完投しました。どのようなトレーニングをした成果だと、話していますか。

.....

問3 「威風堂々」の意味を教えてください。

.....